

新型コロナの“いま”に関する4の知識

※厚生労働省ホームページ出典／6月15日現在

Q 新型コロナウイルスの変異について教えてください

一般的にウイルスは増殖・流行を繰り返す中で少しずつ変異していくものです。日本では、専門家によると、従来よりも感染しやすい、重症化しやすい可能性のある変異株が全国で約8割となり、一部地域を除き、従来株からほぼ置き換わったと推定されています。感染予防策は、変異株であっても、3密（密集・密接・密閉）や特にリスクの高い5つの場面の回避、マスクの着用、手洗いなどが、これまでと同様に有効です。

Q 新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち、重症化する人や死亡する人はどれくらいですか？

重症化する人の割合や死亡する人の割合は年齢によって異なり、高齢者は高く、若者は低い傾向にあります。重症化する割合や死亡する割合は以前に比べて低下しており、2020年6月以降に診断された人の中では、

- ・重症化する人の割合は 約1.6%（50歳代以下で0.3%、60歳代以上で8.5%）
- ・死亡する人の割合は 約1.0%（50歳代以下で0.06%、60歳代以上で5.7%）となっています。

Q 新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち、重症化しやすいのはどんな人ですか？

重症化しやすいのは、高齢者と基礎疾患のある人、一部の妊娠後期の人です。重症化のリスクとなる基礎疾患などには、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、慢性腎臓病、糖尿病、高血圧、心血管疾患、肥満、喫煙があります。

30歳代と比較した場合の各年代の重症化率

年代	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上
重症化率	0.5倍	0.2倍	0.3倍	1倍	4倍	10倍	25倍	47倍	71倍	78倍

Q 新型コロナウイルス感染症はどのようにして治療するのですか？

軽症の場合は経過観察のみで自然に軽快することが多く、必要な場合に解熱薬などの対症療法を行います。呼吸不全を伴う場合には、酸素投与や抗ウイルス薬、ステロイド薬（炎症を抑える薬）、免疫調整薬の投与を行い、改善しない場合には人工呼吸器などによる集中治療を行うことがあります。発熱や咳などの症状が出たら、まずは身近な医療機関に相談してください。

市内感染者の状況

※6月15日現在

市内月別感染者数

(単位：人)

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2020	0	0	0	8	0	0	4	11	5	3	10	53	94
2021	70	9	6	46	142								273

市内世代別感染者数

(単位：人)

年齢	合計
20歳未満	37
20歳代	82
30歳代	48
40歳代	58
50歳代	52
60歳代	39
70歳代	22
80歳代	24
90歳以上	5
合計	367

